

令和7年7月16日
気象庁地震火山部

配信資料に関するお知らせ

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの障害に伴う影響について
(第2報)

7月14日の報道発表の通り、7月13日(日)13時頃から、東南海ケーブル式常時海底地震観測システム(別紙参照)において障害が発生し、当該観測点の周辺を震源とする地震が発生した場合、緊急地震速報の発表が平常時より最大で12秒程度遅くなる可能性があります。

これに加え、15日(火)15時頃から、海底津波計の津波観測データも津波の監視に利用できない状態となり、沖合の津波観測に関する情報で当該観測点の津波観測データが発表できなくなっておりますのでお知らせします。

なお、津波警報等(第1報)については、発表までにかかる時間及びその内容に影響はありません。

現在、復旧に向けた対応を進めており、システム障害の原因について調査を行っているところです。障害が復旧しましたら、あらためてお知らせします。

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの地震計及び津波計の位置

